



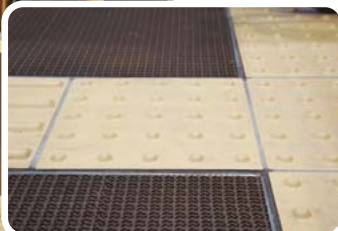
# ①建物内の設備

様々な人が利用する建物の中は、誰もが心地よく使える環境にすることが大切です。施設を利用する人のことを考えて整備をしましょう。

## 床・通路



誘導用ブロックとマットの段差を極力無くした床面↓



躯体床版を下げ、その上に仕上げ面を組んだ床↑



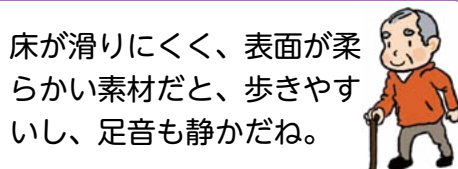
案内用の各種設備へ導く視覚障害者誘導用ブロック（誘導用ブロック）



曲がり角の死角を無くすミラー（喜多見複合施設）



広い通路や鏡などで見通しがいい通路は、人とぶつかる心配も少ないわ。



床が滑りにくく、表面が柔らかい素材だと、歩きやすいし、足音も静かだね。

床下に配管等のスペースを作っておくと、配管等の配置を変えても段差の無い平坦な床を維持できる。



## エレベーター



手すり、操作パネルが左右にある（千歳烏山駅）



目的の階が分かりやすい操作パネル（喜多見複合施設）

かごの中に鏡があると、後ろが確認できて、中で向きを変えなくても乗り降りできるよ。



操作パネルに、凸ボタンや点字、音声案内があると、目が見えなくても操作できるんだ。



低い操作パネルは、子どもや車いす使用者が操作しやすいだけでなく、混雑している時は誰もが便利。



## 手すり



(世田谷美術館)



けが防止のための端部



手すりは連続していて、踊り場の床と平行



温もりが感じられ、触れやすい手すり (給田福祉園)



行き先等を示す点字



床面に平行だと階段がどこから始まる(終わる)のかが分かる。点字があると今いる階と行き先が分かっていいね。

左右にあると利き手や上り下りに関わらず使える。細めの手すりなら、小さい手や弱い握力でも握りやすいわ。



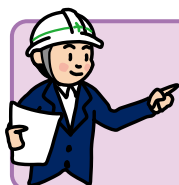
端部は、突き出さないように、適切に処理をしよう。

## 階段



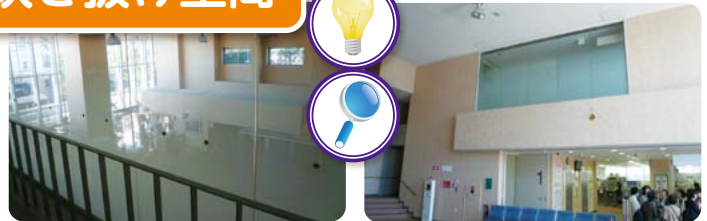
段の端部が目立つ色で示され、滑り止めのある階段

段の端が目立つ色で見やすくなっていると、暗くても安心して歩けるんだ。それに、足元灯があるといいね。



主要な階段は、出入口からすぐ把握して到達できるように、位置に配慮すること。

## 吹き抜け空間



(左) 手すりは足が掛からず乗り出せない縦棧 (砧総合支所)  
(右) 下部が曇りガラスになっている



(芦花中学校)

(芦花小学校)

吹き抜けは、明るく開放的な空間を作れる。気になる下からの視線や、暖かい空気が一部に溜まる事、落下防止等への対策も忘れずに。



# トイレ



様々な人が使いやすい多機能トイレ



オストメイト対応設備に  
温水とシャワーヘッドの  
ある設備



ベビーチェア、ベビーベッド

設備配置の音声案内が  
あるといいな。操作ボ  
タンなどの配置は、JIS  
\*基準を守って欲しい。

\* JIS = 日本工業規格



小児用の小便器のあるトイレ

多機能トイレは、異性介助に配慮し、  
男女どちらでも入りやすい位置にする。  
内側にカーテンを設置するなどの配慮  
も必要。ベビーチェアは、一般  
個室にも置いて、利用者の集中  
を避ける。  
また、複数の便所を設置する場  
合は、片麻痺の人に配慮し、配  
置を左右反転にすると良い。

幼児用小便  
器やベビー  
カーの入る  
スペースが  
あると使い  
やすいわ。

## ②建物周辺



建物の出入口や駐車場は、位置が分かりやすく誰にとっても利用しやすいことが重要なポイントです。壁面など建物の外側部分にも、UDの工夫ができる所があります。

# ドア



窓や指はさみ防止の  
スペースがある引き戸  
(八幡山保育園)



火災時にも行き先が  
安全が見通せる防火  
戸の窓



衝突防止のマークが付いている自動ドア  
(千歳烏山区民センター)



ドアの有効幅が  
確保できる様  
に、計画段階で  
引き残しや戸厚  
を考慮する。ド  
アの取っ手はレ

開き戸より引き戸の  
方が、開け閉めの動  
作が簡単なんだ。



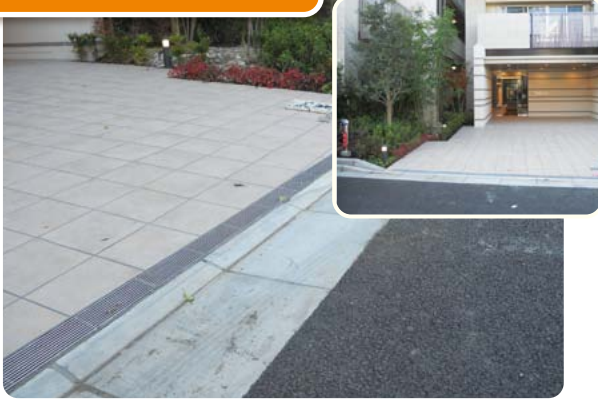
荷物やベビーカーで手  
がふさがっていても、  
自動ドアなら楽だわ。



バーハンドル等の形状とし、車  
いす使用者や子どもにも  
使いやすい高さ (床上  
90cm 程度) にすること。



## 道路との段差



段差の少ない沿道敷地と道路(車道)との境界

段差が全く無いと、歩道を歩いているつもりで車道に出てしまうことがあり、危ないんだ。



施設と道路(車道)との境界は、段差を2cmとするのが基本。世田谷区が考案した「スムーズ段差世田谷型ブロック」の利用が推奨されている。

## 施設の緑化



植栽による緑化  
(砧総合支所)

緑のパーゴラ  
(烏山区民センター前広場)

壁面を緑化すると、景観上の効果だけでなく、遮光・蒸散効果があり、エコロジカルで快適な空間を作れる。



緑のパーゴラは、夏は日差しを遮り、冬は葉が散って日当たりが良くなるわね。

## 駐車場



複数並んだ車いす使用者用駐車スペース



透水性舗装により、排水溝への傾斜が少なくなり、ほぼ平坦になった駐車場



通路と車路が色分けされた駐車場

地面が平らだと、買い物カートも蛇行せず、勝手に転がらないから安全だわ。



車いす使用者用駐車スペースが複数並んでいると、左右どちらからでも乗り降りできていいね。



通路と車路を色分けすると、直感的に歩行区分が分かり、事故が起こりにくくなる。

